

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公開番号】特開2006-351708(P2006-351708A)

【公開日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-051

【出願番号】特願2005-173893(P2005-173893)

【国際特許分類】

H 01 L 33/00 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月27日(2007.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光取出側に開口するケースを有し、前記ケース内に封止部材を充填してなる素子封止用のパッケージと、

前記パッケージのケース内に収容され、かつ前記封止部材によって封止された発光ダイオード素子とを備えた発光ダイオードランプであって、

前記ケースの開口部は、その平面形状を矩形とする光取出口によって形成され、

前記発光ダイオード素子は、前記光取出口の平面形状に応じた平面矩形状の発光ダイオード素子からなり、

前記ケースの内面のうち前記光取出口の長辺に対応する2つの内面とこれら2つの内面にそれぞれ対応する前記発光ダイオード素子の2つの側面との間の寸法Lは、110 μm
L 160 μmの範囲内の寸法に設定されている発光ダイオードランプ。

【請求項2】

前記発光ダイオード素子の2電極にそれぞれ一端部がボンディングワイヤを介して接続され、他端部が前記ケース外にそれぞれ露出する1対の外部接続用リードをさらに備えた請求項1に記載の発光ダイオードランプ。

【請求項3】

前記封止部材には、前記発光ダイオード素子から放射される放射光を受けて励起されることにより波長変換光を放射する蛍光体が含有されている請求項1または2に記載の発光ダイオードランプ。

【請求項4】

同一平面内で隣接する複数の発光ダイオードランプを備えた光源装置において、

前記発光ダイオードランプは請求項1から3のいずれか1項に記載の発光ダイオードランプであることを特徴とする光源装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1) 本発明は、上記目的を達成するために、光取出側に開口するケースを有し、前記ケース内に封止部材を充填してなる素子封止用のパッケージと、前記パッケージのケース内に収容され、かつ前記封止部材によって封止された発光ダイオード素子とを備えた発光ダイオードランプであって、前記ケースの開口部は、その平面形状を矩形とする光取出口によって形成され、前記発光ダイオード素子は、前記光取出口の平面形状に応じた平面矩形状の発光ダイオード素子からなり、前記ケースの内面のうち前記光取出口の長辺に対応する2つの内面とこれら2つの内面にそれぞれ対応する前記発光ダイオード素子の2つの側面との間の寸法Lは、 $110 \mu m \leq L \leq 160 \mu m$ の範囲内の寸法に設定されている発光ダイオードランプを提供する。